橘岡会々報

第24号
令和2年5月
発行者
伊商高橘岡会
事務局長 田雜 勲

会長就任二年目の御報告

橘岡会会長
第66回(昭和42年)卒
川原　文夫

新緑の光が目にまばゆくしみる季節になりました。橘岡会会員の皆様方には益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。日頃、本会の活動について物心両面に渡り多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

まず、橘岡会総会の中止についてお詫びを申し上げたいと思います。令和二年度総会を令和二年六月二〇日開催することとし、代表幹事昭和六三年卒を中心に準備を進めておりました。しかし、中国武漢で発症し、全世界を巻き込んだ新型コロナウイルス感染症防止対策について、人からの感染防止として小中高については一時臨時休校を実施、またイベント等についても自粛要請が出されております。そうした中、六月総会開催について、予定通り実施、または延期について検討を行いました。その結果、全国で感染拡大傾向にあり当県に於いても予断を許さぬ状況にあること、また終息の時期も見えない状況であることから、会員皆様の生命と健康を考慮し止むを得ず、令和二年度総会の中止を決断いたしました。

会員の皆様には、年一回の総会を楽しみにしておられる事と思いますが、前述の事情をお察し頂きご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、近年は自然災害が多い年が続いております。昨年は日本列島に於いて台風の被害に見舞われました。特に近隣では武雄市が被害を被られました。被災者の皆様にお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復興をご祈念申し上げるところです。

また、今年は前述の新型コロナウイルスが猛威を振るい全世界を驚異の渦に巻き込んでいる状況で、我が国においてもほぼ全県に感染者が広がり健康面、経済面に大きく影響を及ぼしております。令和二年四月九日には一部の都市府県に緊急事態宣言が発せられました。更に四月一八日には全国に緊急事態宣言が発せられ、生活面等全ての面において混迷を深めているところで、一刻も早い終息を願うものであります。

学校生活に於いても、新型コロナウイルス対応に追われている状況です。三月には全国一斉休校が実施されました。また、学校行事についても簡略化対応を行っているところです。

橘岡会では令和元年度橘岡会入会式を令和元年度卒業生二二〇名に対し令和二年二月二八日挙行致しました。翌々日三月一日卒業式が執り行われたところです。卒業生の進路につきましては就職六三名、内県外二九名、県内三四名、進学五七名で就職進学率一〇〇%でありました。

また、伊万里実業高等学校開校二年目の令和二年度入学式が四月八日に執り行なわれ、一八三名が入学いたしました。学科構成は商業科四〇名、情報処理科四〇名、フードビジネス科三九名、生物科学科四〇名、森林環境科一八名、定時制六名、計一八三名でありますが、農業科の一部の学科では二年連続定員割れの状況で、来年の伊万里市及び有田町の中学校卒業生が今年より九〇名程度減の予想にあり、定員確保が心配されるところです。

Ⅰ.同窓会館の管理について

橘岡会館の空調機を取替えました。

会館は平成四年建設、築後二六年を経過し老朽化により空調機が使用不能になり、生徒達の利用に支障が出ておりましたので、令和二年三月に一七〇万円を掛け取替えを致しました。

Ⅱ.橘岡会の今後の在り方について

橘岡会の現状につきましては、在校生からの同窓会会費により補ってまいりました。その目的は、母校の発展に寄与することを大前提として

(1)会員相合の会合及び親睦
(2)母校の教育振興への支援
(3)同窓会館の管理及び運営
(4)会員名簿及び会誌の発行

を目的事業として歴代活動してまいりました。

しかし、令和四年三月をもって伊万里商業高校籍の在校生全て卒業してしまいます。卒業後に閉校式が執り行われ、伊万里商業高校としての役目も終了するという事になります。当然橘岡会への会費収入も無くなります。そうなりますと事業そのものが出来なくなります。勿論学校への支援については、母校そのものが無くなりますので、そこは考えなくていいと思いますが、下記の問題については検討を要することになります。

橘岡会館の維持管理の問題
橘岡会所有不動産の問題
同窓生慰霊祭の問題
原爆慰霊祭の問題
橘岡会総会の問題
橘岡会会員名簿作成の問題
一般財団法人としての存続の問題
事務局の問題

等について橘岡会としては大きな問題ですので昨年より理事会及び評議員会で検討をしているところであります。

Ⅲ.橘岡会館の維持管理について

橘岡会館は伊万里商業創立九〇周年を記念し平成四年母校への教育振興への支援として、地元有志及び同窓生の寄付により建設、同二一年一〇〇周年を記念し隣接地に新会館を増設し、会館使用により、本校生徒の心身の錬磨、品性の陶冶、学力の向上等に貢献してきたところであります。しかし、この度の伊商、伊農両校の統合により、新高校として伊万里実業高校が開校し、橘岡会として支援先を見失した形ではありますが、元々橘岡会館を建設するについては上記の目的を基に同窓生に支援を募り建設されたものでありますので、教育施設としては平成四年建設で老朽化も目立っており、ある程度の手直しを行い、新高校に利用してもらいたいと思います。今回の空調機の改善もその一環であります。

Ⅳ.駐車場の管理処分について

会館上の駐車場については、現在、職員駐車場として、体育祭等学校のイベントの時に職員が使用し、回数的には年間四~五回と思われます。管理について敷地三〇〇坪程度あり、草の除去等に非常に苦慮しているとの事であります。橘岡会としても利用計画もない事から、この際売却してはと思います。その売却資金は、今後の橘岡会運営に充てたいと思います。

なお、処分時期については国体が三年後に開催され、本校がホッケー会場となっている関係上国体終了後から行いたいと思います。

他、諸問題について協議を重ねていきたいと思いますが、事務局の問題が一番大きな課題であります。今まで橘岡会行事については、全て伊商卒の教職員が事務局となって取組んで頂いておりますが、閉校後、令和四年四月からは伊万里実業に事務局を置く訳にはいかないと思います。当然本校の職員に橘岡会行事について頼る事もできないと思いますので、この辺のところについて、協議していきたいと思います。

どうか、諸先輩の皆様方には橘岡会の現状をご理解いただき「橘岡会の今後の在り方」等についてご意見を頂きますれば幸いでございます。

最後に、橘岡会の皆様方には、全国で新型コロナウイルスの感染拡大が続いております。終息の見通しもはかりきれない状況でありますので、三密「密接」「密集」「密閉」には充分ご注意され健康でお過ごしくださいますようご祈念申し上げご挨拶といたします。

本校二年目に向けて

校　長
深町　俊善

新型コロナウイルスの影響で三月はほぼ臨時休校となり、卒業式も在校生が参加しない形での実施となりました。新学期となり県内の一部の地域を除き学校は再開となりましたが、四月二一日より再び臨時休校となり、ゴールデンウイーク明けの学校再開もどうなるか分からない状況です。一日も早くこの状況が収束することを切に願っています。

本校は今年で二一〇年目を迎えることになりました。橘岡会の皆様のご活躍により地域でも高い評価をいただいている学校と自負しております。これも多くの卒業生の皆様が、地元伊万里はもちろんのこと、国内外の至る所でご活躍いただいている恩恵によるものと存じます。昨年は、橘岡会総会、関東支部、中京支部、関西支部の支部会に参加させていただきありがとうございました。橘岡会の皆様の母校を想うお気持ちと会員の固い絆に敬意を表する次第です。

○学校教育目標について

本校の学校教育目標は、「生徒一人ひとりの『生きる力・生き抜く力』を育み、社会経済情勢の変化に十分に対応しうる、社会人・商業人としての資質(知識・技能)を身につけさせ、社会に貢献できる心身ともに健全な生徒の育成を目指す」です。今年度は《~見る夢は叶わず　追う夢は叶う~》をスローガンとして、心身ともに健全な人材の育成に努めることにより、社会貢献ができる人間性豊かな生徒の育成を目指します。また、重点目標として、次の三つを掲げました。

- 集団生活の中で、相互に理解しあう心を醸成し、協調性を高める。
- 基礎学力の向上に努め、思考力・判断力・表現力を磨き、進路実現一〇〇%を目指す。
- 新しいものを創造するとともに、来るべき社会の構築に積極的に参画できる生徒を育成する。

○昨年度の学校状況について

進路状況については、就職(県内三二・県外二八)、進学(国公立大二・私大五・短大六・専門四三)合計一一六名の就職並びに進学希望者全員が進路決定をすることができました。

全日制の部活動においては、ホッケー部男女が九州選抜大会でダブル優勝し、全国選抜大会に出場、文化部では情報処理部が全国情報処理競技大会で個人優良賞を受賞しました。定時制においては、卓球部女子が三年連続で県定通総体団体優勝を果たし全国大会出場、県定時制通信制生徒体験発表大会で唐津市長賞を受賞しました。